

<課題調査検証>

事業名	安心して走りたくなる健康・交流まちづくり事業		
申請団体名	仙台駅東まちづくり協議会		
審査結果	一次審査	通過	・不通過
附帯意見 最終審査に向けて、下記の点を事業申請書等へ盛り込むなど事業内容の見直しを行ってください。 ● <u>現況調査及びワークショップの具体的な手法について</u> 課題を適切に把握できるよう、現況調査やワークショップの具体的な手法（実施時期や回数等）を示してください。特にランナーへのヒアリングについては、同一のランナーに重複して意見を聴くことの無いよう、時期や時間帯を変えて調査を行う等の工夫をしてください。 ● <u>調査に要する人件費の積算について</u> 事業収支予算書の「人件費」内訳欄に「調査員 70 人日×6,000 円/人日」とありますが、調査手法が明らかになるよう、調査員の実人数や調査日数を追記してください。 ● <u>使用する会場について</u> 事業収支予算書の「使用料及び賃借料」内訳欄に「陸上競技場利用料」とありますが、仙台市陸上競技場は令和7～9年度に大規模改修が段階的に実施されるため、事業の内容や時期によっては別の会場へ変更してください。 ● <u>課題調査検証後の事業展開について</u> 申請している助成金の種類が「課題調査検証助成」であることを踏まえ、本事業においてどのような課題を明らかにし、次年度以降の駅東エリアのにぎわいづくりに向けてどのような取り組みを展開する想定か、具体的に示してください。			

<協働実践助成>

事業名	「荒浜にいこう！」プロジェクト
申請団体名	一般社団法人 MOTTO×一般社団法人あんしん・すまい・くらし支援機構
審査結果	一次審査 通過 ・不通過
附帯意見 最終審査に向けて、下記の点を事業申請書等へ盛り込むなど事業内容の見直しを行ってください。 ● <u>事業目的と重度障害者のイベント参加との関連性について</u> 事業計画の「2 事業の目的」に「…より多くの市民に『荒浜地区』で『再び』楽しみ親しんでいただくことを通して、東日本大震災で大きな被害を受けた当地の『新たな魅力』を仙台市内外にアピールしていく…」とありますが、この事業目的と、イベント参加者に重度障害者を必須としていることとの関連性を示してください。 ● <u>「協力団体コーディネーター」について</u> 事業収支予算書の「報償費」内訳欄に「協力団体コーディネーター謝礼」とありますが、コーディネーターとして想定している人物や役割について具体的に示してください。 ● <u>本事業を通して目指す荒浜地区の将来像について</u> 事業計画の「6 事業スケジュール」に記載されている「事業実施内容」のほとんどが、荒浜地区の事業者が実施する既存の単発イベントと思われます。地域づくりパートナープロジェクト推進助成の趣旨や、被災した元住民の思いを踏まえ、本事業を通して目指す荒浜地区の将来像を具体的に示してください。	

<協働実践助成>

事業名	青葉山エリアの持続的な賑わい創出 テクノロジー体験プログラム「TECH CIRCUS 2026」 ～青葉山エリアをアントプレナーシップ体験の中心へ～
申請団体名	日本コンベンションサービス株式会社東北支社×株式会社オーナー× エンスペース株式会社
審査結果	一次審査 通過 ・不通過
附帯意見 最終審査に向けて、下記の点を事業申請書等へ具体的に盛り込むなど事業内容の見直しを行ってください。 ● 「プラットフォーム」の内容について 事業申請書の「4 事業の具体的な内容」のうち「フェーズ1：プラットフォーム構築と機運醸成」に掲げられている「実行委員会」や「パートナー」について、想定しているメンバーやそれぞれが果たす役割等を具体的に示してください。 ● 「プレイベント」の内容について 同じく「フェーズ1」に掲げられている「プレイベント」について、内容を具体的に示してください。 ● ウェブサイト及びSNSの開設と地域づくりとの関係について 同じく「フェーズ1」に「ウェブサイトやSNSを開設し」とありますが、これらが地域づくりとどのように結びつくのか示してください。 ● 「メインイベント」の内容について 「フェーズ2：メインイベント『TECH CIRCUS 2026』の開催」に関連し、当該イベントの内容を詳細に示してください。 なお、「ハイレベル『キッザニア』型の体験プログラム」とありますが、本市内でも小・中・高校生を対象とした職業体験事業が既に実施されていることから、これら既存事業との差別化について具体的に示してください。	

<協働実践助成>

事業名	中田地区の防災意識高揚プロジェクト	
申請団体名	中田西部町内会連合会×柳生・西中田商工振興会	
審査結果	一次審査	不通過
附帯意見 本申請事業については、地域の避難訓練における課題の把握自体は適切であるものの、その解決に向けた事業効果や経費見積りの妥当性について疑問が残ることから、不通過としました。今後も、貴団体が有するノウハウやネットワークを生かしながら、課題の解決に向けて取り組まれていくことを期待します。 なお、地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業検討会における主な意見は、次のとおりです。 ● <u>デジタルサイネージについて</u> 従来からのテレビ・ラジオに加え、スマートフォンの普及によりさまざまな情報が手元へ届くようになった時代背景を踏まえると、実際の災害時に、家から出て駅に設置したデジタルサイネージで情報収集したいという住民ニーズがどの程度あるか不明であるうえ、デジタルサイネージ自体が災害で破損し情報発信を行えなくなる可能性もあり、デジタルサイネージの購入は、申請書で掲げられた地域課題に対する解決手段として妥当とはいえないと判断しました。 ● <u>経費見積りについて</u> 地域の町内会及び柳生中学校・柳生小学校・西中田小学校の合同避難訓練は既に実施されているところであり、石巻市への移動を含む研修会や地域における防災シンポジウム等に要する経費は、申請書で掲げられた地域課題の解決に比して過大であると判断しました。		

<協働実践助成>

事業名	ラジオとアートでつながる「日常防災」ネットワーク - 世代や国を超えて育む包括的な地域コミュニティ -
申請団体名	株式会社仙台シティエフエム×虹のさかなプロダクション
審査結果	一次審査 ☒ 通過・不通過
附帯意見 最終審査に向けて、下記の点を事業申請書等へ具体的に盛り込むなど事業内容の見直しを行ってください。 ● <u>「包括的なコミュニティ形成」の実現に向けたロードマップについて</u> 事業申請書の「1 課題の把握」に「②日常時の交流が災害時の力になる」とあり、「3 事業における目標」に「包括的（インクルーシブ）なコミュニティ形成」について記載していますが、数回のイベント開催を通じてどのようにこれらを実現する想定であるか、達成までのロードマップを示してください。 ● <u>ラジオの活用について</u> 事業申請書の「3 事業における目標」に「新たな「共助ネットワーク」の形成【若年層・子育て層の自発的な参加創出と定着】」を目指すと記載していますが、これを達成するための媒体としてラジオを活用する理由や、本事業におけるラジオの役割について、具体的に示してください。 ● <u>「新たな『共助』ネットワークの形成」を目指すエリアについて</u> 事業申請書の「4 事業の具体的な内容」に列挙されている毎月のイベントは、開催場所の記載があるもの（愛宕橋、六丁の目）と無いものとが混在していますが、「2 事業の目的」及び「3 事業における目標」に掲げられている「新たな『共助』ネットワークの形成」に向けては、エリアを固定して取り組むほうが効果的と考えます。目的及び目標を踏まえたエリア設定の考え方や、各イベントの開催場所について、具体的に示してください。	

＜協働実践助成＞

事業名	介護職員・医療従事者の健康寿命延伸プログラム連携事業	
申請団体名	医療法人芳縁会×QOLD 株式会社	
審査結果	一次審査	不通過
附帯意見 本申請事業については、事業申請書等の記載が不十分であることや、本助成事業の趣旨と合致しない点のある提案であることから、不通過としました。今後も、貴団体が有するノウハウやネットワークを生かしながら、課題の解決に向けて取り組まれていくことを期待します。 なお、地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業検討会における主な意見は、次のとおりです。 ● <u>事業申請書等の記載について</u> 事業の対象者が不明確であるほか、事業申請書の「4 事業の具体的な内容」について具体的内容の記載がほとんどなく、また記載の各事業が「6 事業スケジュール」に反映されていない点、事業収支予算書における「人件費」「報償費」等の積算根拠が記載されていない点など、記載が不十分な箇所があるものと判断しました。 ● <u>本助成の趣旨との合致について</u> 団体同士の役割分担が不明確である点や、事業申請書に掲げられる課題及びその解決策に地域性が見られない点など、「協働実践助成」で求める「複数の団体が連携・協働して行う地域の課題解決に資する取り組み」の趣旨と合致しない内容であると判断しました。		

<ソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成>

事業名	「タマリバ」プロジェクト
申請団体名	一般社団法人ながまちマチキチ×長町商店街連合会
審査結果	一次審査 <u>通過</u> ・不通過
附帯意見 最終審査に向けて、下記の点を事業申請書等へ具体的に盛り込むなど事業内容の見直しを行ってください。 ● 「タマリバ」の場所について 事業申請書の「4 事業の具体的な内容」に、「タマリバ」の場所については、現在、長町一丁目、三丁目の空き店舗にて検討中」とありますが、一定の人通りが見込める場所での事業実施が求められるため、活用する空き店舗の場所などの具体的なイメージや、事業収支予算書で想定している安価な金額で借りることができるかについて示してください。 ● 事業に対するニーズや収益の根拠について 事業申請書の「3 事業における目標」について、「ひとはこ屋」の運営に60名の参画を見込んでおり、またこれをもとに事業収支予算書の収入の部を積算していますが、想定するニーズの根拠や想定する収益についての積算根拠について示してください。 ● 事業収支予算書における経費の必要性について 事業収支予算書の「使用料及び賃借料」内訳欄に「敷金 6ヶ月分」とありますが、敷金の性質をふまえ、「助成対象外経費」として積算してください。 また、同じく「施設等の整備費」内訳欄に「改修工事」、「設備備品購入費」内訳欄に「パソコン・プロジェクター」とありますが、それぞれの必要性について具体的に示してください。	

以上の内容について、相違ないことを認めます。

〔委員長〕

柴田由紀

〔署名人〕

笹井一史